

# 江東区協働事業提案制度 令和2年度実施事業報告書

江東区で実施している協働事業提案制度で令和元年度に採択され、令和2年度に区と協働で実施した2事業について、実施団体から受けた事業報告および江東区区民協働推進会議委員からの意見を報告します。

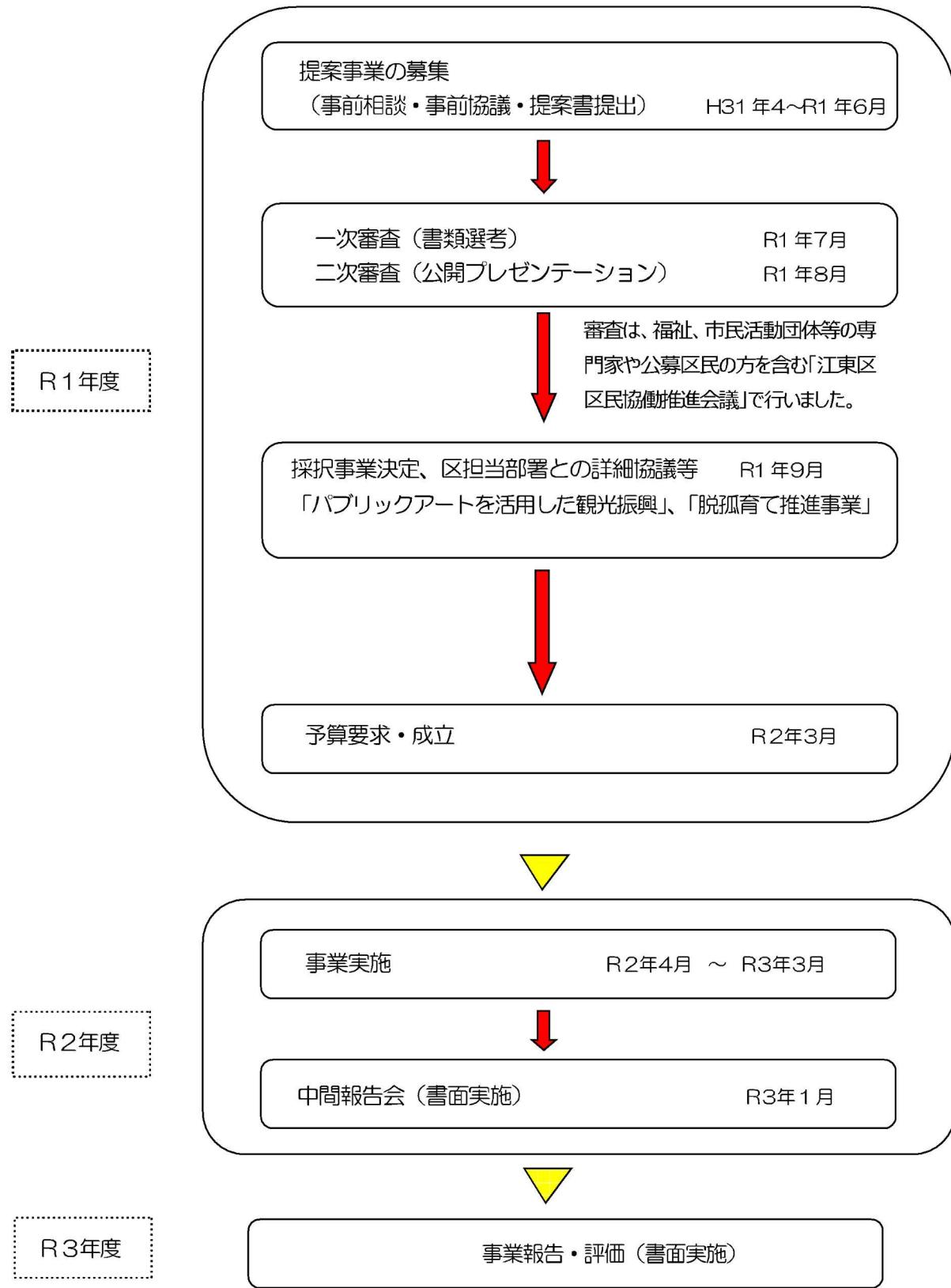
## [目次]

1 江東区協働事業提案制度概要	.....	1
2 江東区区民協働推進会議委員名簿	.....	2
3 協働事業結果報告書		
(1) パブリックアートを活用した観光振興	.....	3
(2) 脱孤育て推進事業（2年事業・1年目）	.....	8
4 江東区区民協働推進会議委員意見書		
(1) パブリックアートを活用した観光振興	.....	12
(2) 脱孤育て推進事業（2年事業・1年目）	.....	13

## 1 江東区協働事業提案制度 概要

地域で活動する市民活動団体等の皆さんから、区と共に取り組むことで「こんな課題を解決できる」「よりよいまちをつくることができる」といったアイデアを、協働事業として募集します。

この制度によって選考され採択された事業は、提案団体と区が協議を重ね、協働により事業を実施します。



## 2 令和3年度 江東区区民協働推進会議委員名簿

◎…会長 ○…副会長

学識経験者	◎枝見 太朗	一般財団法人富士福祉事業団 理事長
	○大島 隆代	早稲田大学人間科学学術院 准教授
中間支援組織	新田 英理子	一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク 事務局長
区民	野村 充	公募委員
	木村 千瑛	公募委員
市民活動団体	中安 敬子	特定非営利活動法人マザーツリー自然学校 理事長
産業団体	石塚めぐみ	東京中小企業家同友会 江東支部 副支部長
公益活動団体	竹内 一成	社会福祉法人 江東区社会福祉協議会 江東ボランティア・センター所長
	召田 和也	公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団 管理課長
区職員	堀田 誠	地域振興部長

令和3年 4月 7日

江 東 区 長 宛

団 体 名 江東区文化観光ガイドの会

団 体 所 在 地 江東区東陽 4-5-18 江東区産業会館内

代表者職・氏名 会長 岩渕和恵

## 協働事業結果報告書

令和元年度江東区協働事業提案制度採択事業の実施について、次のとおり報告します。

事 業 名 称	パブリックアートを活用した観光振興
事業の実施期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
実施事業の概要	1) 区内に現存するパブリックアートの現状を調査し、資料として写真撮影と現状確認を行い、台帳を作成する。 2) 台帳をもとにした冊子を作成し、配布する。 3) パブリックアートの写真パネル展を開催する。 4) パブリックアートを活用したガイドコースを設定し、まち歩きツアーを実施する。 5) 江東区観光協会のホームページ内に、パブリックアートのコーナーを開設し、一般の方々に提供する。
※詳細については 「具体的事業内容」に記入し、 ここでは要約して欄内に収まる ように記入してください。	

具体的な事業内容  ※実施時期・従事者・参加者・実績などを具体的に記入してください。詳細を別紙として提出することも可能です。	<p>事業年初より、活動を開始した。</p> <p>1) 区内に現存するパブリックアートの現状を調査し、資料として写真撮影と現状確認を行い、台帳を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真撮影については、江東区文化観光ガイドの会の会員全員（119名）に声をかけ、撮影協力を要請した。</li> <li>・現状調査および現物確認、写真撮影については、令和2年9月末までに調査を終了した。</li> </ul> <p>2) 台帳をもとにしたチラシ、パンフレット、冊子の作成と配布について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①チラシ・パネル展周知用 500部（A4判三つ折）</li> <li>*チラシ配布先 江東区内各文化センター、深川江戸資料館、芭蕉記念館、中川船番所資料館、深川東京モダン館、亀戸梅屋敷、江東区内各図書館</li> <li>②パンフレット 1000部（A4判3ページ）</li> <li>配布先はパネル展会場（来場者用）、深川東京モダン館、まち歩きガイドコース参加者</li> <li>③冊子（作品一覧含む）200部（A4判46ページ）</li> </ul> <p>配布先は、江東区文化観光ガイドの会員全員、区文化観光課、江東区観光協会、江東区内各図書館（11館）各1部、国立国会図書館3部、区河川公園課、道路課、施設保全課</p> <p>3) パブリックアートのパネル展開催について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査したパブリックアートの一部40枚をパネルにし、パネル展の開催を企画する。</li> </ul> <p>&lt;第1回&gt;令和2年11月16日（月）～11月20日（金）まで総合区民センターにて開催。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展については、ガイドの会の会員にお手伝いを依頼する。午前午後とも各2名確保。</li> <li>・来館者 76名。</li> <li>・アンケート内容については、別紙分析内容を添付。</li> </ul> </p> <p>○江東ケーブルテレビから西大島総合区民センターで開催するパネル展への取材依頼あり。</p> <p>11月16日（月）11時～12時の間に對応した。このニュースは11/22（日）～11/28（土）、放映された。</p> <p>&lt;第2回&gt;令和3年1月5日（火）から1月10日（日）まで深川東京モダン館にて開催予定であったが、コロナ禍の情勢にて中止。</p> <p>&lt;第3回&gt;令和3年3月2日（火）から3月5日（金）まで豊洲シビックセンターにおいて開催。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者 94名。</li> <li>・アンケート内容については、別紙に分析内容添付。</li> </ul> </p> <p>&lt;第4回&gt;令和3年3月9日（火）から3月14日（日）まで深川東京モダン館において開催。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者 108名。</li> <li>・アンケート内容については、別紙に分析内容を添付。</li> </ul> </p> <p>4) 3月21日（日）まちあるきツアーパブリックアートを巡るまち歩き）  *コロナ禍であり、一般ゲストの募集は見送り、江東区文化観光ガイドの会会員を中心に実施。ガイド等を含め、35名の参加を得る。  別紙にガイドコースとガイドポイントを添付します。</p> <p>&lt;従事者&gt;  パネル展、ガイドコース確認、ガイドについては、江東区文化観光ガイドの会養成開発部7名を中心に活動する。  別紙として現在までに完成したチラシ、パンフレット、冊子、展示会来館者のアンケート集計表を添付する。（分析内容も含む）</p>
--	--

<p><b>事業の成果</b></p> <p>※この事業で取り組もうとした課題は、どこまで達成できましたか。</p>	<p>前記に記載した内容の通り、年度末までに、パネル展の開催を行い、ガイドコースを完成させ、江東区観光協会と連携して、ガイドツアーを開催できました。</p> <p>課題は、達成できました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックアートの写真は所在地を調査し、地図に落とし、冊子にまとめ、各図書館に送り区民へのPRを行った。</li> <li>・パブリックアートの所管課に現状の報告を行い、修繕等の依頼をした。</li> <li>・区民の方が、パネル展を訪れ、パンフレットに掲載されているパブリックアートを全て巡るなど、一定の反響があった。</li> </ul>
<p><b>協働の効果</b></p> <p>※区と協働したことによって、どのような効果が得られましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対外的効果としては、区との協働事業を前面に出すことにより、活動内容が公に認められ、宣伝効果がより一層高まった。</li> <li>・対内的（ガイドの会）には、ガイド会員の活動に新たなガイド活用のツールの提供ができた。</li> </ul>
<p><b>今後の活動展開</b></p> <p>※この事業で取り組んだ課題に対し、貴団体は今後どのような活動を展開していくですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックアートをガイドの会会員にさらに周知、徹底を図る。</li> <li>・区内に設置されているパブリックアートをよりガイド説明ポイントに取り込み、まち歩きツアーのガイドに幅を持つような取り組みを実行したい。</li> </ul>
<p><b>自由意見</b></p> <p>※事業実施を通じて気づいたこと（新たな課題、実施体制、参加者の声等）を記入してください。</p>	<p>中間報告書でも記載したように、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この事業（冊子等の印刷、ツアーにかかる費用、アート作品の調査等）を遂行するためには、費用等が掛かるため、協働事業の制度が必要です。</li> <li>・現況調査で判明した劣化作品の修復が課題です。</li> <li>・亀戸地区の歩道に設置されていた作品が水道工事のため撤去された事から区の台帳に登録されている作品をどのように守り、管理して行くか等の制度化や整備も必要だと思います。</li> <li>・ガイドコースを複数作成することと区民への宣伝が課題です。</li> </ul>

※ 事業の成果物（冊子等）、参加者アンケートの結果、写真など、提出できるものがある場合は添付してください（中間報告の際に提出いただいたものを除きます。）。なお、ご提出いただいたものは返却できません。

## アンケート3会場集計

	総合区民センター	豊洲シビック	モダン館	合計
1. 参加者数				
男性	38	24	23	85
女性	38	38	31	107
アンケート合計	76	62	54	192
来場者数 午前		50	50	100
来場者数 午後	76	44	58	178
合計	76	94	108	278

2.居住別				
江東区内	62	58	40	160
その他	10	4	14	28
未回答・不明	4			4
未回収				-
合計	76	62	54	192

参加のきっかけ				
1. こうとう区報	5	12	10	27
2. カルチャーナビ	4	7	4	15
3. 江東区HP	2	2	3	7
4. 観光協会HP	5	1	2	8
5. チラシ	5	4	2	11
6. 友人から聞いて	4	1		5
7. その他(出張所に来たついで)	46	31	25	102
8. 未回答・不明	5			5
東京新聞		12	5	17
ガイドの会		4	7	11
合計	76	74	58	208

4.区内のパブリックアートの存在を知っていましたか。				
1. 知っていた	43	37	30	110
2. 知らなかった	29	25	24	78
3. 不明	4			4
合計	76	62	54	192

6. パブリックアート展を見て				
1. 関心を持った	59	45	44	148
2. 普通	16	17	10	43
3. 関心ない	1			1
4. 不明				0
合計	76	62	54	192

7. ツアーに参加するか				
1. 参加する	34	28	37	99
2. どちらでもない	36	25	15	76
3. 参加しない	6	9	2	17
合計	76	62	54	192

知られているアート	人数
白虎	20
ゴンベッサ	16
希い	13
ペルソナ抄	12
ハネカメ	11
四神	10
木場の川並	8
青龍	7
憩	5
朱雀	3
海の響き	3
草花の譜	3
亀戸の春秋	3
時	3
深川公園	3
なかよし	2
陽	2
無題亀の甲	2
しぶき	2
ポケット広場	1
友愛の碑	1
森を見たかい	1
ピラルク	1
汀	1
友愛の碑	1
文泉公園	1

知られている公園
仙台堀川公園
豊川河川敷
古石堀親水公園
北砂緑道公園

### 多かった感想

☆アートに興味を持った。  
☆作品に対し由来などもっと知りたい  
☆实物を見たくなった。  
☆全ての作品のパネルを見たい  
散策しながら楽しみたい  
パネルを見ることにより今後はアートに目を向けたいと思います。  
実際、写真展示でわかりやすい  
沢山よくきれいに写真を撮り、素晴らしい  
各アートに説明版があるとさらに良い。  
とりあえず四神を全部巡ってみたくなりました。  
全ての作品をパネルで見たかった。  
良かったです。冊子が欲しいです。  
それぞれの由来がわかるものがあるとよい(ホームページでも可)



令和3年 4月 30 日

江 東 区 長 宛

団 体 名 一般社団法人 ママリングス

団 体 所 在 地 江東区猿江2-10-9

代表者職・氏名 代表理事 落合香代子

## 協働事業結果報告書

令和元年度江東区協働事業提案制度採択事業の実施について、次のとおり報告します。

事 業 名 称	脱孤育て推進事業
事業の実施期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日
実施事業の概要	1. 子育て応援 MAP の作成 子育て応援 MAP 「こうとう子育てポケット」広報ツールを作成した。 2. 虐待予防研修プログラム策定 市民協力者に策定会議検討委員会への参画を促し、虐待予防研修プログラムを外部学術協力者とともに策定進行中である。
※詳細については 「具体的事業内 容」に記入し、 ここでは要約し て欄内に収まる ように記入して ください。	

<b>具体的事業内容</b> <p>※実施時期・従事者・参加者・実績などを具体的に記入してください。詳細を別紙として提出することも可能です。</p>	<p><b>1. 子育て応援 MAP 作成</b></p> <p>1) こうとう子育てポシェット の構築 令和3年4月30日公開予定。 Google マップとの連動で、特徴から近隣施設を検索できる。</p> <p>①子連れウェルカムな場所と地域をつなぐ - 子育てに優しい場所 おむつ替え、授乳OK、ベビーカーや車椅子の乗り入れ等をマップで検索できる。</p> <p>②保育園・幼稚園の検索機能</p> <p>③こうとう子育て応援団 - 虐待予防研修プログラムとの連動</p> <p>④子育て困ったSOS! - 困ったときの電話帳的機能</p> <p>⑤子育て役立つ知識 - 専門職・行政職員とつなぐ</p> <p>2) 広報ツールの作成</p> <p>①協力施設に貼るステッカー 300枚</p> <p>②広報用パンフレット 3,000枚</p> <p>2. 虐待予防研修プログラム策定</p> <p>1) 検討委員会の開催</p> <p>令和2年9月から令和3年3月</p> <p>令和2年9月23日</p> <p>令和2年11月5日</p> <p>令和2年11月19日</p> <p>令和2年12月16日</p> <p>令和3年1月20日</p> <p>令和3年2月18日</p> <p>令和3年3月18日</p> <p>2) プログラム開発は令和3年4月以降 プログラム実施 令和3年10月予定 プログラムの効果検証を研究として実施する。 研究担当 キタ幸子先生 シンポジウム開催予定 令和3年11月</p>
---	--

事業の成果  ※この事業で取り組もうとした課題は、どこまで達成できましたか。	<p>1. 子育て応援 MAP 作成  子育て世代をつなぐイベント型情報発信から、WEB を介した情報発信と地域をつなぐ仕組みを持った社会課題解決型のオリジナリティのあるサイト構築ができたと思います。特に、虐待予防プログラム研修を受講した方々を掲載する「こうとう子育て応援団」は「江東子育てネットワーク」としての機能を持たせ、江東区内に広く持続的に策定したプログラムを広げていけるような仕組みづくりを目指します。</p> <p>【提出物】  リーフレット・シール</p> <p>2. 虐待予防研修プログラム策定  実質 9 月からのスタートとなり、1 年目は主に検討委員会にて講義を中心に展開した。市民参画による虐待予防研修プログラム策定にむけ、多数の専門職、研究者の方からの講義を受けた。講義内容によって、検討委員、行政ご担当者からも興味深く関心を持っていただけた箇所が各回に見られた。また、行政担当者が見ている視点と、地域子育て支援現場から見ている視点の違いについてもヒアリングなどを実施し、参考にすることができた。  コロナ禍の影響もあったが、互いにできる範囲で意思疎通を図りながら、最終的には検討委員や行政担当課も含め、「自分事」として関わってもらう素地ができたのではないかと感じている。</p> <p>【提出物】  ・研究計画書  ・プログラム案</p>
協働の効果  ※区と協働したことによって、どのような効果が得られましたか。	<p>「こうとう子育てメッセ」で大切にしていたコンセプト、子育て世代の声を届け、行政職員の声を届けるためのプラットフォームになり得るものができるのではないか、と思っている。また、「こうとう子育てメッセ」では構築が難しかった「地域のつながりをつくる」ツールの入り口はできた、と思う。真に行政情報を受け手の立場に立って作成している地域情報サイトはほとんどない。このような WEB サイトが完成したのは前身の「こうとう子育てメッセ」の経験に依るところが大きい。継続的な協働の成果だと認識している。</p> <p>行政サービスにおいて、効果検証を図る研究を取り入れながら進めていくプログラムの導入を民間との協働、多数の市民にも参画しながら作っていくというのはユニークな試みである。このような取り組みが図れるのも協働の成果である。これから実施と検証には団体側の力量が試されるところであるが、この協働の価値を立証するような成果を丁寧に作っていきたいと思う。</p>

<p><b>2年目実施に向けた展望</b></p> <p>※1年目の実施を通じて気づいたこと（改善すべき点や計画の変更の有無等）を記入してください。</p>	<p>1. 子育て応援MAP 地域との連携、子育て世代の声を届ける ということを念頭に置きながら情報発信ツールとして構築を図っていく。      2. 虐待予防研修プログラム策定      「虐待予防の視点」をベースに地域のつながり作りの構築を図っていきたい。</p>
<p><b>自由意見</b></p> <p>※その他実施を通じて気づいたこと（新たな地域課題、参加者の声等）を記入してください。</p>	<p>区の担当課、また関係課の皆様には様々ご協力をいただきました。      2年目の取り組み、また地域に定着するものになるようにこの後も尽力します。</p>

※事業の成果物（冊子等）、参加者アンケートの結果、写真など、提出できるものがある場合は添付してください（中間報告の際に提出いただいたものを除きます。）。なお、ご提出いただいたものは返却できません。

**江東区協働事業提案制度 令和2年度実施事業  
江東区区民協働推進会議委員意見書**

事業名	パブリックアートを活用した観光振興		
団体名	江東区文化観光ガイドの会		
担当課名	文化観光課	関係課	道路課、河川公園課、施設保全課
事業費 (予算額)	1, 597, 984円 (1, 666, 650円)	行政 団体	1, 597, 984円 0円

**◆ 江東区区民協働推進会議 委員意見◆**

- ・アンケートの結果、回答者の8割がパブリックアートに関心を持った、5割がツアーに参加すると答えており、パブリックアートを新たな観光資源として活用する、という事業目的には一定程度かなっていると思われる。
- ・協働により、パブリックアートを区の観光の資源として発掘して台帳を作成できること、また団体の主活動である観光ツアーに大いに活用できることは評価できる。
- ・冊子を見て、作者の人となりや作品の背景などにも触れ、ツアーで話を聞けたら楽しいのではないかと思った。魅力を発信して、地元で愛されるアートであってほしいと願う。
- ・パブリックアートは、江東区の魅力をさらに高め、地域活性に繋がる素晴らしい取り組みだと感じる。アンケートの感想コメントからさらに今後広がる将来性を感じた。江東区には「現代美術館」や昨年から始まった「アートパラ深川」等のイベントとも協働・コラボできると良いのではと感じた。協働することでお互いの良い部分（運営方法や告知等）を学び、発信する魅力も規模も拡大すると考える。
- ・観光やまちおこしの観点から自治体との協働には意義があると思われるが、地域の課題のアプローチという点では、事業が評価しにくいという側面もある。見て楽しむだけでの工夫が今後求められるだろう。
- ・成果物の一つである冊子のほとんどが提案団体である江東区文化観光ガイドの会会員や区関係各課に配布する程度で、パブリックアートを広く区民に周知することができるのか疑問がある。パブリックアートの存在をどのように周知していくのかが課題と思われる。
- ・提案団体の意見として、事業遂行には費用がかかるため協働が必要とあるが、団体として独自に財源を確保して活動した上で、広報等区が持つ強みを生かして一緒に事業を行う、という事業計画は検討されなかったのだろうか。
- ・今回の取り組みを一過性の物で終わらせる事なく、今後どのように継続、展開していくかが重要である。
- ・関係課の評価で「進捗状況の共有ができていない」「話し合う機会が少なかった」とされており、関係課も含めた事業管理の在り方には課題がある。

**◆ 江東区区民協働推進会議 総合意見◆**

区内のパブリックアートの存在を整理し、管理するためにデータ化したことは大変価値ある事業であったと考える。コロナ禍の影響で十分なパブリシティ効果を得ることは難しかったが、この地域の財産をどのように活かして地域活性化に結びつけていくかがこれから課題ではないだろうか。単なるガイドの選択肢の一つではなく、いくつか象徴的なアートを積極的にアピールして話題化するなどの取り組みが行われることが期待される。作家達のプロフィールを丁寧に掘り起こし、江東区との関係性や作家がどのような思いで創作したかなどを説明するなど、一つひとつの作品の価値を高めるにより地域の財産としての認識を高めることにつながると思うのでより踏み込んだ調査にチャレンジしていただきたい。今回の協働事業によりパブリックアートの存在そのものが再認識されることになったので、行政としても管理のための予算化やPRの方法などに対する検討を進めていただきたいと願う。周辺地域住民がパブリックアートを活用した交流を促進するなどその利用方法を考えることで地域活性化に役立てていただきたい。また、ガイドボランティアなどを通じたまちづくりへの住民参加を促すきっかけとなれば今回の事業の発展的な成果となるのではないかと考える。

**江東区協働事業提案制度 令和2年度実施事業  
江東区区民協働推進会議委員意見書**

事業名	脱孤育て推進事業（2年事業・1年目）		
団体名	一般社団法人ママリングス		
担当課名	こども家庭支援課	関係課	青少年課、福祉課
事業費 (予算額)	3, 184, 437円 (3, 186, 564円)	行政 団体	942, 533円 2, 241, 904円

**◆ 江東区区民協働推進会議 委員意見◆**

- ・事業内容として検討されてきた「子育て応援マップの作成」「虐待予防研修プログラム策定」共に、現時点では作成途中であるが、これまでの取り組み内容としては充実した内容になっていると思われる。
- ・2年事業の1年目ということもあり、子育て応援マップとしてのサイトはこれからさらに中身が充実していくことと思うが、情報発信に関しては、確認作業を丁寧にやっていく必要がある。
- ・子育て応援マップの作成に当たっては、記載情報の充実やサイトの周知が不可欠であり、そのために提案団体が持つ専門性やネットワーク、区が持つ広報力や所管課が持つ関係団体等とのつながりなど、双方が持つ強みを使った「協働」を今後も継続していくことが重要である。そのため今回の協働事業終了後の対応を検討しておく必要があると思われる。
- ・本事業及び子育てポシェットの存在を効率的に区民へ周知していく必要があると考える。具体的には子育て世代が多く利用するショッピングモール、子育て支援センター、江東区ホームページ等への掲載が効果的だと思う。
- ・社会課題を解決する素晴らしい企画だと思う。虐待予防研修プログラムは江東区をモデルに他の区に展開できる仕組みになると思われる。
- ・虐待予防研修プログラム策定に当たって行われた研修に参加した方たちが核となり、虐待予防のためのプログラムの今後の普及と地域協力者の広がりを期待する。
- ・虐待予防研修プログラム策定に当たり、区だけでは確保が難しい専門職の協力を得られたことは協働の成果と思われる。一方で担当課としてプログラム内容の共有が十分にできなかつた点は課題であり、コロナ禍という状況での困難さはあるとは思うが、提案団体と担当課との意思疎通において工夫、改善を図る必要があると思われる。
- ・本事業は、地域で見過ごされがちで制度だけでは対応できない生活の課題を、市民がどう解決していくかという点で、挑戦的であったと思う。今後はこのような事業にアクセスしにくい層の把握や課題のアセスメントなどを丁寧にやっていただき事業を展開していってほしい。
- ・所要経費の7割を提案団体が独自に獲得した資金で貯っている点は、団体の自立性の確保、事業の継続性などを考えると高く評価できる。

**◆ 江東区区民協働推進会議 総合意見◆**

本事業はコロナ禍の不安定な状況の中にあっては比較的計画に沿って事業を進められていたのではないかと考える。団体の経験やネットワークを活かして行政だけでは取り組みにくい一般区民への啓発に向けた可能性を感じられる。事業団体は江東区の協働事業として実施した「こうとう子育てメッセージ」をはじめとして子育て支援に関する事業に取り組んでおり、当事者がもつ課題などを把握して「脱孤育て」というキーワードが団体の目標の一つになっている。本事業は実際のニーズに対応した企画として子育て応援マップづくりと虐待を生み出さないための学びの場を提供することで具体的な成果を生み出すことが期待される。コロナ禍により、様々な世代の孤立化が広がることが懸念されているが、特に子育て世代は地域との連携を必要としており、行政制度だけではなく民間との協働、連携が求められている。虐待を0にするという目標は社会が求める共通の課題であり、手遅れや事件が起きないよう団体の更なる活動の活性化を期待するとともに、行政との情報共有やインフォーマルな活動に対する行政の積極的支援が求められる。行政としても社会課題の多様化にフレキシブルに対応できる制度設計を常に考え、民間との連携を強化できるよう日常的なコミュニケーションに心がけていただきたい。また、児童虐待は全国的な大きな社会課題の一つであり、江東区での協働の取り組みが広く発信されて課題解決に向けた先駆的な役割を果たしていくことを願っている。コロナ禍の影響はまだ続くと思われるが、難しい状況に対応しながらもより充実した2年目の活動に期待したい。